

空間周波数の補足説明 (Fmax の求め方)

測定開始時に話した内容と配付資料の内容に対する補足説明を以下に示す。

紙に近づくと縦縞が見えるようになり，明るい所では暗い所よりも離れた位置からでも見えた。

隣り合う黒と白の縦線を併せて1本と数える。

1 mm当たりの本数は，紙に書かれていた通り。

紙と眼位置との距離は測定した通り。

視角 θ [deg] は三角関数 \arctan から判るので，空間周波数が何[cpd]

(または[Hz/deg]) 以下であれば見えるのかが計算できる。この値を

Fmax として報告してください。

明所の縦縞パターン1, 2, 3 および暗所での縦縞パターン1, 2, 3

以上6つの Fmaxを報告する。

以上